



地方創生2.0への町総合戦略の対応方針（案）

2026年2月2日

企画政策課企画マーケティング担当



地方創生のこれまでの流れ

<国の動き>

平成26年12月

- ・まち・ひと・しごと創生長期ビジョン策定
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略策定【2015-2019】

令和元年3月

- ・まち・ひと・しごと創生長期ビジョン改訂
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略【2020-2024】

令和4年12月

- ・デジタル田園都市国家構想総合戦略【2023~2027】

令和6年：地方創10年目

(地方創生10年の振り返りを踏まえて)

令和7年6月

- ・国地方創生2.0基本構想

令和7年12月

- ・地方創生に関する総合戦略 ~これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略~【2025~2029】

国総合戦略を勘案しながら策定

<神奈川県動き>

平成28年3月

- ・神奈川県人口ビジョン策定
- ・神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略策定【2015-2019】

令和2年3月

- ・神奈川県人口ビジョン改訂
- ・第2期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略策定【2020-2024】

令和6年3月

- ・第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略策定【2024-2027】

令和7年3月

- ・神奈川県人口ビジョン改訂

令和7年11月

- ・地方創生2.0に関する県総合戦略の対応方針

令和8年1月

- ・新たな国の総合戦略の策定を踏まえた県総合戦略の対応方針

国・神奈川県の総合戦略を勘案しながら策定

<寒川町の動き>

平成28年3月

- ・寒川町人口ビジョン策定
- ・寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定【2015-2019】

令和元年3月

- ・寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂【2015-2020】

令和2年3月

- ・第2期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定【2021-2024】

令和6年12月

- ・寒川町人口ビジョン改訂

令和7年3月

- ・第3期寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定【2025-2028】

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

神奈川県人口問題（まち・ひと・しごと創生）に対応する計画

神奈川県人口ビジョン

これまでの人口動向を分析し、克服すべき課題をまとめたもの
⇒人口問題の観点から克服すべき課題とその解決に向けたビジョンを整理

神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口ビジョンに位置付けた3つのビジョンを実現するための具体的な取組
⇒ビジョン実現のための4つの基本目標を掲げ、基本目標を達成するための具体的な取組を位置づけ

**新かながわ
グランドデザイン**
県政運営の総合的・基本的指針を示す総合計画

課題とビジョンを実現する具体的な取組

国の総合戦略

人口減少に歯止めをかけるとともに将来にわたって活力ある日本社会を維持
(まち・ひと・しごと創生法)

国総合戦略を
勘案

国・県総合戦略を勘案

・人口減少社会
・超高齢社会
への対応という観点で施策を抽出

寒川町の人口問題（まち・ひと・しごと創生）に対応する計画

寒川町人口ビジョン

これまでの人口動向を分析し、克服すべき課題をまとめたもの
⇒人口問題の観点から克服すべき課題とその解決に向けたビジョンを整理

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口ビジョンに位置付けた3つのビジョンを実現するための具体的な取組
⇒ビジョン実現のための4つの基本目標を掲げ、基本目標を達成するための具体的な取組を位置づけ

寒川町総合計画2040
町政運営の総合的・基本的指針を示す総合計画

国地方創生2.0の概要

■これまでの国の地方創生10年の成果と反省

<成果>

- ✓ 人口減少問題への対応開始
- ✓ 地方移住への関心の高まり など

<反省>

- ✓ 人口減少を受け止めたうえでの対応
- ✓ 若者や女性の流出要因へのリーチ不足 など

■国の地方創生2.0でめざす姿

①「強い」経済	②「豊かな」生活環境	③「新しい日本・楽しい日本」
✓ 自律的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出	✓ 生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出	✓ 若者や女性にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人一人が幸せを実感できる地方を創出

■政策の5本柱

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生 ✓ 日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。 ✓ 人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある民の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化を図る。
(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～ ✓ 多様な食、農林水産物や文化芸術等の地域のポテンシャルを最大限に活かし、多様な「新結合」で付加価値を生み出す「地方イノベーション創生構想」を推進する。 ✓ 構想の実現に向けて、異なる分野の施策、人材、技術の「新結合」を図る取組を重点的に推進する。
(3) 人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～ ✓ 過度な東京一極集中の課題に対応した人や企業の地方分散を図る。 ✓ 政府関係機関の地方移転に取り組むとともに、関係人口を活かして都市と地方の人材交流を進め、地方への新たな人の流れを創出する。
(4) 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用 ✓ GX・DXを活用した産業構造に向け、ワット・ビット連携などによる新時代のインフラ整備を面的に展開していく。 ✓ AI・デジタルなどの新技術を活用し、ドローン配送などにより地方における社会課題の解決等を図り、誰もが豊かに暮らせる社会を実現する。
(5) 広域リージョン連携 ✓ 都道府県域や市町村域を超えて、地方公共団体と企業や大学、研究機関などの多様な主体が広域的に連携し、地域経済の成長につながる施策を面的に展開する。

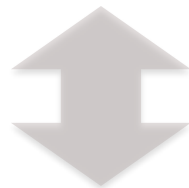
国地方創生2.0のめざす姿と町人口ビジョンでの目指すべき将来の方向性

国地方創生2.0
めざす姿

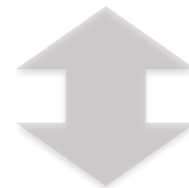
「強い」経済	「豊かな」生活環境	「新しい日本・楽しい日本」
自律的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出	生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出	若者や女性にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人一人が幸せを実感できる地方を創出



国の政策に
反映



国・町の方向性が概ね合致



寒川町人口
ビジョン
目指すべき
将来の方向性

(町の現状から
考えた課題)

雇用機会の確保と産業の創出	まちの魅力と認知度の向上	若い世代の子育て環境の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・若者を中心に多様なニーズに対応すべく、新たな産業の誘致等での雇用機会の確保していく。 ・商業を推進して地域の魅力を向上し、町外からの人の誘引、定着に繋げる。 ・地域経済を活性化し雇用機会の創出につながる産業を創出すべく、地域の力（潜在的な労働力）を集め、町民ニーズに沿った細やかな支援を行い、誰もが安心して働き暮らせる地域づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で暮らしやすい生活環境の実現を図るため、交通環境の充実、まちのにぎわいづくりを目指す。 ・町が居住地として選ばれるよう、町の特色を活かした魅力づくりを進めるとともに積極的にまちの魅力を発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の担い手となる人材の確保や地域の活性化を進めるため、若い世代の出生率の向上を目指す。 ・子育て世代の経済的負担や、仕事と子育てを両立できる地域社会づくり、子育てに関する不安を解消させる施策に取り組む。 ・価値観の変化を踏まえた結婚から子育てまでの切れ目のない支援を目指す。



第3期総合戦略
に反映

国地方創生2.0と第3期町総合戦略の対応関係

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

		町第3期総合戦略			
		基本目標 1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます	基本目標 2 多様なつながりにより、新しい人の流れをつくります	基本目標 3 心にゆとりのある子育てができる環境をつくります	基本目標 4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります
国 地 方 創 生 2 ・ 0 基 本 構 想	① 若者や女性にも選ばれる地方となるための社会変革・意識変革	○ (多様な人材の流入・(女性の)創業支援※創業前後で支援実績あり)		○ (「働きやすさ」のある職場の創出)	
	② 魅力ある働き方・職場の創出	○ (経営者コミュニティ)			
	③ 地域に愛着を持ち、地域で活躍する人材の育成		○ (地域への愛着形成)		○ (地域の担い手・コミュニティづくり)
	④ 多様な人々が活躍する地域社会の実現			○ (女性の子育てと仕事の両立)	
	⑤ 社会の情勢変化に適応可能な将来を見据えた地域のサービス拠点づくり	くらしのデジタル化・行政内部のデジタル化により達成を目指す			
	⑥ 交通・医療・介護・子育てなど生活必需サービスの維持・確保		○ (結婚の希望を叶える)	○ (妊娠・出産の希望を叶える)	○ (地域コミュニティの希薄化への対応)
	⑦ 将来を考えたまちづくり				○ (地域コミュニティの維持)
	⑧ 災害から地方を守るための国を挙げた防災力強化	寒川町総合計画2040第2次実施計画にて補完する			
	⑨ 地域の防犯力強化と地方消費者行政の充実・強化	寒川町総合計画2040第2次実施計画にて補完する			

国地方創生2.0と第3期町総合戦略の対応関係

(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～

		町第3期総合戦略			
		基本目標 1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます	基本目標 2 多様なつながりにより、新しい人の流れをつくります	基本目標 3 心にゆとりのある子育てができる環境をつくります	基本目標 4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなでつくります
国 地 方 創 生 構 想 2 ・ 0	① 施策の「新結合」 ：多様な地域資源の一体的な高付加価値化	○ (産業集積の形成支援)	○ (地域資源の高付加価値化【スポーツ】)		
	② 人材の「新結合」 ：多様な主体の連携による地域の支援体制の構築とイノベティブな人材の呼び込み	○ (支援機関のネットワーク構築)			
	③ 技術の「新結合」：AI・デジタル技術等の組合せ	くらしのデジタル化・行政内部のデジタル化により達成を目指す			
	④ 「新結合」を全国各地で生み出す取組	主に国の取組と想定			

(3) 人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～

		町第3期総合戦略			
		基本目標 1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます	基本目標 2 多様なつながりにより、新しい人の流れをつくります	基本目標 3 心にゆとりのある子育てができる環境をつくります	基本目標 4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなでつくります
国 地 方 創 生 構 想 2 ・ 0	① 政府関係機関の地方移転	主に国の取組と想定			
	② 本社機能の地方分散	○ (企業等の立地促進に関する取組)			
	③ 地方における高等教育の充実	主に国の取組と想定			
	④ 関係人口の量的・質的拡大		○ (移住定住に向けた取組・関係人口の獲得)		

国地方創生2.0と第3期町総合戦略の対応関係

(4) 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用

		町第3期総合戦略			
		基本目標1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます	基本目標2 多様なつながりにより、新しい人の流れをつくります	基本目標3 心にゆとりのある子育てができる環境をつくります	基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなでつくります
基本構想 20創生	① GX・DX時代の新たな産業集積の形成に向けたインフラ整備	○ (産業用地の利活用)			
	② デジタル・新技術の社会実装	くらしのデジタル化・行政内部のデジタル化により達成を目指す			
	③ デジタル技術の利活用に向けた環境整備				

(5) 広域リージョン連携

		町第3期総合戦略			
		基本目標1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます	基本目標2 多様なつながりにより、新しい人の流れをつくります	基本目標3 心にゆとりのある子育てができる環境をつくります	基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなでつくります
基本構想 20創生	① 都道府県域を超える広域リージョン連携の枠組みの創設	主に県の取組と想定			
	② 広域地方計画等に基づく「シームレスな拠点連結型国土」の実現				
	③ 広域連携でのインフラ管理の推進	近隣自治体の動向を見ながら必要に応じて検討			
	④ 基幹的な道路・新幹線等の幹線鉄道等の交通ネットワークの整備	主に国・県の取組と想定			

国地方創生2.0における市町村の役割

(地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き(令和7年12月版)より抜粋)

① 求められる役割

- ・地方創生を現場で中心的に担う主体として、地域の多様なステークホルダーを巻き込み、一緒になって地方創生を推進するリーダーシップを発揮すること。
- ・国・県の支援を活用し、他自治体との比較や好事例を参考にし、人口構造の変化等各地域の将来の姿から逆算して着手すべき施策を考え、それらを担う人材育成を含め具体化していくこと。
- ・人口減少を正面から受け止めた施策展開や、人口規模や権限、地域特性等に応じてAI・デジタル等の新技術を活用して維持すべき行政サービスの高度化やサービス確保を図る取組を行うとともに、新たな資金の流れを自ら確保する取組、若者や女性にも選ばれる地域づくりなどの新しい視点も取り入れながら、必要に応じ、他の市町村とも連携を図りつつ、地方創生の施策を力強く進めていくこと。

② 地域の特色や地域資源を生かした住民に身近な施策

基礎的な地方公共団体として、地域の特色や地域資源を生かし、住民に身近な施策を幅広く地方版総合戦略に盛り込み、実施すること。

③ 市町村間連携

広域観光や関係人口の創出・拡大等の個別の施策における複数市町村間の連携のほか、定住自立圏や連携中枢都市圏といった圏域設定を行う取組など、市町村間連携(他の都道府県の市町村との連携を含む。)に関する施策に積極的に取り組むこと。

経済面、文化面、地理的状况などの観点から一体性・関係性のある広域圏においては、効率的かつ効果的な行政運営の確保を図ること等を考慮し、複数の市町村が共同して地方版総合戦略を策定することも考えられる。

⇒①②については、第3期総合戦略で概ねクリアしている

③については、今後湘南広域都市行政協議会(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)等他自治体と連携し、検討していく

第3期町総合戦略の対応（案）

○国地方創生2.0基本構想において地方に求められていること

・地方創生2.0を推進する取組に早期に着手

・地域の多様なステークホルダー等とともに地方版総合戦略を見直し

○第3期町総合戦略の対応（案）

・地方創生2.0基本構想で位置づけられている政策は、第3期町総合戦略においても概ね網羅されている（一部は総合計画で補完）

⇒引き続き第3期町総合戦略に位置付けた事業を着実に取り組んでいく

・第3期町総合戦略は令和6年度中に策定、令和7年度から実施している

・神奈川県において、国地方創生2.0基本構想で掲げられた政策は県総合戦略でも位置付けられており、国の総合戦略は基本構想の政策目標や基本姿勢・視点、施策などを引き継ぐものであり、国の総合戦略に掲げられた政策も現行の県総合戦略でも概ね位置付けられているため、現行の県総合戦略の改訂は見送る、とされている

⇒現時点ですぐに大きな改訂はせず、年度ごとに実績を点検し、寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会において多様な関係者（ステークホルダー）の意見を聴取しながら取組の有効性を検証し、必要に応じて随時見直しをしていく